

施策評価シート【施策体系外（平成 30 年度分）】

【企画政策部】

| 目標 | 結果 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・「平塚市シティプロモーション指針」や「ブランディング戦略」に基づき、子育て世代を重点ターゲットにシティプロモーションを展開し、本市のイメージ向上と人口の社会増を目指します。 ・平塚市総合計画の着実な推進の一環として、市民意識調査による基礎資料の収集を行うとともに、平成 31 年度の中間見直しに向けて、行政評価結果を外部の視点から検証するなど、施策の効果的な推進を図ります。 ・本市の行財政改革を進める上での重点課題である民間活力の積極的活用を図るため、平成 30 年 3 月に策定した「民間活力の活用に係る具体的業務の取組方針について」で業務委託や指定管理者制度を導入することとした業務について、スケジュールどおりに進捗するよう進行管理します。 ・公共施設の将来的な方向性を考える上での基礎資料として活用するために、平塚市公共施設再編計画に基づく施設評価を行うことで、公共施設再編の必要性の可視化に取り組めます。 ・本市の所有する公共施設に公衆無線 LAN (Wi-Fi) を整備し、手軽に情報収集や情報発信ができるようにすることで、市民生活の利便性向上、経済活動の活性化及び本市来訪者の拡大を図ります。 | <ul style="list-style-type: none"> ・定住促進ウェブサイトの開設や動画コンテンツの開催などの取組を展開した結果、「ブランディング戦略」での本市イメージに関する指標を概ね達成するとともに、平成 30 年度の社会増を達成することができました（平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月 535 人の転入超過）。 ・平塚市総合計画の効果的な推進及び平成 31 年度の中間見直しに向けて、市民意識調査及び転入出者アンケートの実施、平塚市行政改革推進委員会から行政評価の結果をもとに重点施策の一部に対する意見をいただくなど、進捗の確認、検証を行いました。 ・取組方針に基づき、平成 30 年度は吉沢保育園給食調理業務と、勝原小学校単独調理場業務を業務委託しました。また、市民課窓口業務は保険年金課窓口業務と合わせて包括的に業務委託し、小動物処理業務、粗大ごみ・剪定枝収集業務についても平成 31 年度から委託を開始します。 ・平塚市公共施設再編計画において再編を積極的に検討することとした施設のうち、現時点で再編の方向性が未定の 147 施設について、評価結果案をまとめました。 ・公衆無線 LAN (Wi-Fi) 設備を高麗山公園レストハウス、湘南ひらつかビーチセンター、平塚競技場、平塚球場、平塚総合体育館、ひらつかサン・ライフアリーナ、市役所本館の 7 施設に整備しサービスを開始しました。 |

【総務部】

| 目標 | 結果 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">・時代の変化を読み、責任を持って使命を果たすことにより、市民の期待に応えることができる職員の育成を目指し、研修を実施します。・市民・職員にとって快適な庁舎となるよう、維持管理を適切に行います。・地方税法に基づき、公正、公平な課税を行います。また、税制改正に適切に対応します。・納税者の利便性向上及び納期内納付の促進を図るため、インターネットを利用したクレジットカード納付を実施し、市税の収入確保に取り組みます。 | <ul style="list-style-type: none">・働き方改革の実現や接遇力の向上、また、「未来を見据えた」政策形成能力の向上など、各種の研修を実施し、職員の育成に取り組みました。・案内表示や備品類を拡充するなど利便性の向上を図り、適切な維持管理を進めました。・市税条例を改正し、改正内容をホームページや広報等で広く周知することで、税制改正に適切に対応するとともに、公正、公平な課税を行いました。・インターネットによるクレジットカード納付を実施することで、期限内での納付を促進するとともに、時間や場所を問わない納付を可能とし、市税の収入確保に努めました。 |

【公営事業部】

| 目標 | 結果 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">・一般会計への繰出金を確保するため、来場者数増加を図り、車券売上目標の達成を目指します。・事業を安定的に継続するため、経営の効率化を進め、収益率の向上を図ります。・来場者の安心・安全と快適な観戦環境を確保するため、施設整備の基本方針に基づき、必要な施設整備に取り組みます。・競輪事業に対する理解を深めるため、市民に開かれた親しみやすい競輪場を目指します。 | <ul style="list-style-type: none">・来場者数は147,113人（前年度比98.8%）にとどまり、また車券売上も目標を達成することができませんでした。一般会計への繰出金は、当初予算通り2億5千万円を確保することができました。・利用者が特に少ない平日昼間開催時に河川敷臨時駐車場を閉鎖したり、来賓へのサービス方法を見直したりするなど、来場者数に見合った開催運営に取り組み、収益の向上に努めました。・来場客の利便性を向上するため施設改修工事を行い、飲食売店を屋根のあるエリアに移転しました。また、第2センタースタンドの庇などを改修することで、施設の安心・安全が確保されました。・サッカー国際大会（15才以下）の歓迎レセプション会場として施設を貸し出し、世界15か国から160人を超える選手等が来場しました。また、湘南バイシクルフェスには、約5,200人の参加がありました。こうした施設開放を進めたことで競輪場を多くの人に認知してもらうことができました。 |

【市民部】

| 目標 | 結果 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">・市民課の窓口業務について、来庁者の待ち時間の短縮等の市民サービス向上を図るため、庁内関係課と連携して民間活力の活用に向けた手続きを進めていきます。 | <ul style="list-style-type: none">・更なる市民サービスの向上と費用対効果を勘案して、市民課及び保険年金課の窓口業務を包括的な業務委託とし、公募型プロポーザル方式により受託事業者を選定し、平成31年9月からの業務委託開始に向け契約を締結しました。また、6課11窓口窓口受付番号システムを導入しました。 |

【まちづくり政策部】

| 目標 | 結果 |
|---|--|
| <p>・都市マスタープランのまちづくりの目標と将来像を実現するため、市民・事業者・行政が相互に連携し計画的なまちづくりを推進するとともに、コンパクトシティ・プラス・ネットワークの形成を目指し市全体の都市構造の維持を図るため、都市計画制度を活用した検討に取り組みます。</p> | <p>・都市計画法が改正され田園住居地域が新たに用途地域の種類に追加されたことを受け、平塚市用途地域等に関する指定方針及び指定基準を作成するとともに、コンパクトシティ・プラス・ネットワークの形成に向けて、必要な都市計画制度を活用するために調査及び研究を進めました。</p> |

【土木部】

| 目標 | 結果 |
|---|---|
| <p>・改定・かながわのみちづくり計画において、将来に向けて検討が必要な道路として位置づけられた各路線について、熟度をあげる取組を進めます。また、河川堤防未整備個所の早期整備や、浚渫など河川の日常的な維持管理について、国や県に対し要望を行います。</p> <p>・道路施設（横断歩道橋、トンネル、舗装、道路照明施設など）の落下や倒壊などによる利用者や第三者被害を防止するため、点検や応急措置、修繕を行い、予防保全型のメンテナンスサイクルを進めます。</p> <p>・豪雨等、水害時の安全対策として、中央地下道、本宿地下道、岡崎地下道に冠水状況を通報するシステムを設置します。</p> <p>・下水道事業における中長期的な経営の基本計画である経営戦略について、平成32年度の完成を目指し、引き続き策定を進めます。</p> | <p>・将来に向けて検討が必要な道路について、関係市と連携し事業化に向けた課題の整理や、整備効果の検証などを進めました。また、近隣の市町と組織する協議会での活動を通じて、国や県に対して河川堤防未整備個所の早期整備や、浚渫など河川の維持管理について要望を行いました。</p> <p>・横断歩道橋やトンネルの長寿命化修繕計画を策定、路面性状調査や17路線の舗裝修繕、直営作業員による応急措置や道路パトロールによる点検の実施により予防保全型のメンテナンスサイクルを進めました。また、スマートフォンを利用した通報システム「みちれば」を導入しました。</p> <p>・豪雨等、水害時の安全対策として、中央地下道、本宿地下道、岡崎地下道の冠水状況を通報するシステムを設置し、運用を開始しました。</p> <p>・決算数値を用いた類似団体との比較による現状分析、改善すべき課題の抽出及び長年にわたってバランスのとれた実効性のある「投資計画・財政計画」と経営健全化施策等を検討しました。</p> |

【会計課】

| 目標 | 結果 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ 出納機関として、審査・支払事務の適正かつ確実な執行に努めます。・ 安全な公金管理を図るため、社会経済の変化を把握するとともに、会計事務に係る情報及び金融情報等の収集に努めます。・ 財務会計システムの円滑な遂行に努めます。 | <ul style="list-style-type: none">・ 出納機関として、年間約 55,000 件の支出命令書を審査し、適正に支払うことができました。・ 安全性を担保した上で柔軟かつ効率的な公金運用を行うため、金融環境の情報収集はもとより、預金、債券などの金融商品の選定に当たって、競争性に優れた引き合い方式を採用しました。・ 必要に応じてシステム改修を行い、財務会計システムの円滑な遂行に努めました。 |

【議会局】

| 目標 | 結果 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ 本会議、委員会の円滑かつ適切な運営のサポートをします。・ 議会の活動を市民に分かりやすく伝えるよう取り組みます。・ 議会の会議運営や議長及び議員に係る事務を的確に処理します。 | <ul style="list-style-type: none">・ 各定例会、臨時会において瑕疵のない議会運営を行いました。・ CATV 及びインターネットによる会議内容の放映（本会議）、また、会議録の作成及び市HPでの公開などにより、議会情報の提供を図り市政への関心を高めることに努めました。・ 議員の庶務的なサポートを行い、議員が議会活動しやすい環境づくりに取り組みました。また、政務活動費の適正な支出確保へ適切な助言を行い、支出の透明性確保策として市HPで各議員の収支報告書等の公開を行いました。さらに、各種議長会での諸課題等の情報交換を議会運営に役立てました。 |

【選挙管理委員会事務局】

| 目標 | 結果 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">・公職選挙法その他関係法令に基づき、平成31年4月に任期満了となる神奈川県議会議員・県知事選挙が効率よく管理執行できるよう準備を行います。 | <ul style="list-style-type: none">・平成31年4月に執行される神奈川県議会・県知事選挙について、立候補届出書等の事前審査を徹底し、立候補届出等がスムーズに受理できるよう準備する他、立会人報酬支払い事務の見直しなど、選挙事務が効率よく管理執行できるよう準備を行いました。 |
| <ul style="list-style-type: none">・公職選挙法その他関係法令に基づき、平成31年4月に任期満了となる平塚市議会議員・市長選挙が効率よく管理執行できるよう準備を行います。 | <ul style="list-style-type: none">・平成31年4月に執行される平塚市議会議員・市長選挙について、立候補届出書等の事前審査を徹底し、立候補届出等がスムーズに受理できるよう準備する他、立会人報酬支払い事務の見直しなど、選挙事務が効率よく管理執行できるよう準備を行いました。 |
| <ul style="list-style-type: none">・選挙事務の効率化に取り組みます。 | <ul style="list-style-type: none">・政治活動用立札・看板に係る証票交付申請書等をホームページへ掲載する他、投票記載所の候補者等掲示の作成方法、選挙管理委員会委員報酬の支払い方法を見直し、選挙事務の効率化を図りました。 |
| <ul style="list-style-type: none">・選挙啓発を通じ、特に若年層有権者の政治、選挙への意識の高揚を図ります。 | <ul style="list-style-type: none">・平塚市明るい選挙推進協議会と連携し、街頭啓発活動や啓発標語の募集など各種啓発活動を行いました。また、若年層有権者の選挙への関心を高めるため、新有権者へのバースデーレターの送付、県立高校での選挙出前授業、模擬投票などを行いました。 |

【監査委員事務局】

| 目標 | 結果 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">・監査等実施計画に基づく定期監査、現金出納検査、決算審査等について、監査委員による監査が円滑に執行されるよう、的確に補助を行います。・財務事務の適正性、行政執行上の効率性や有効性等の監査精度の向上を図るため、また、公営企業会計の検証等に適切に対応するため、事務局職員の能力の向上に努めます。 | <ul style="list-style-type: none">・定期監査、現金出納検査、決算審査等について、職員調査を的確に行い、年間計画どおり監査を実施しました。・専門的研修への参加等により、職員の能力の向上を図りました。 |

【社会教育部】

| 目標 | 結果 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">・図書館ウェブサイトスマートフォンにも対応可能とし、利用者自身による読書履歴の保存・活用や、資料をデジタル化する機能を備えることで、利用者がより使いやすくなる新図書館システムを導入します。 | <ul style="list-style-type: none">・新図書館システムを平成30年6月から導入しました。これにより、図書館ウェブサイトがスマートフォンで見やすくなったほか、利用者自身が読書履歴を保存・活用できるようになるなど、利便性が向上しました。資料のデジタル化は、今後実施するための状況確認等を行いました。 |

【病院事務局】

| 目標 | 結果 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">・将来構想に基づく取組を着実に進めることにより、経営改善を図り、病院運営の健全化を目指します。・診療報酬の加算等を取得し、引き続き収益の確保に努めます。 | <ul style="list-style-type: none">・将来構想に基づき、質の高い医療体制を整えたことによるDPC係数の上昇、救急車搬送患者の積極的な受け入れ、病床25床の再稼働、手術件数の増加などによる収益確保及び後発医薬品の使用促進などによる支出抑制の経営改善に努めた結果、経常収支が5年ぶりに黒字となりました。・平成30年5月に緩和ケア診療加算の算定を開始しました。2年に1度の診療報酬改定がありましたが、質の高い医療体制を整えたことによりDPC係数が上昇し、これが増収要因となり、前年度より収益が増加しました。 |